

こうべ UD 広場



「こうべUD広場のあゆみ」

- ・ 1977 年(昭和 52 年)「神戸市民の福祉をまもる条例」制定

神戸市では他都市に先駆け、すべての市民が安全で快適に暮らし、様々な社会活動に参加できる「福祉のまちづくり」を推進

- ・ 1995 年(平成7年)1月 阪神・淡路大震災発生

震災時の地域での助け合いの経験や復旧・復興の過程において、市民が主体的にまちづくりにかかわっていかうという動きに

市内各所でユニバーサルデザインへの取り組みが活性化していく

- ・ 2001 年(平成 13 年)7月 長田区ユニバーサルデザイン研究会の発足

震災で大きな被害を受けた長田区で発足

まちづくりの中にユニバーサルデザインを取り入れるなど神戸で最初の取り組みがスタート

高齢者人口の増加や障がい者の社会進出などを背景として「ユニバーサルデザイン」に着目

ユニバーサルデザインについて研究し、その考え方にもとづいた、人に優しいまちづくりを進めていくことを目指す

地元企業、各種団体、住民、学校、行政機関など多彩なメンバーで構成され活動



研究会の活動の様子

- ・ 2003 年(平成 15 年)3 月

こうべ市民ユニバーサルデザインに関する意識調査の実施

だれにとっても安心・快適で“やさしい”まちづくりに向けて、『ユニバーサルデザインのまちづくり』を全市的に展開していくため、ユニバーサルデザイン(UD)に関する市民の意識やニーズ等を把握し、神戸市としてめざすべき方向を定める「ユニバーサルデザイン推進指針」策定の参考とするために実施

- ・ 2003 年(平成 15 年)5 月

「こうべUD広場(こうべユニバーサルデザイン推進会議)」が発足

神戸を世界一ユニバーサルなまちにしていこうと有志で呼びかけを行う

«呼びかけ人»※肩書は当時

摂南大学教授 田中 直人

社会福祉法人プロップステーション理事長 竹中 ナミ

近畿タクシー(株)代表取締役社長 森崎 清登

(長田区ユニバーサル研究会会長)

「ユニバーサルデザイン(UD)」の輪を一層広げ、神戸を世界一のUDのまちにと公募市民、事業者、学校関係者、NPO団体などが参画

講座や施設見学などを通して、ユニバーサルデザインに関する共通認識を持ちながら、実現に向けた議論を重ねる



第 1 回こうべUD広場

- ・ **2003 年 ユニバーサルデザインフォーラム 2003 を開催**

こうべUD広場(一般公開)、ユニバーサルファッションショーやユニバーサルデザインを取り入れた商品の展示などを通して、UDの考えを広く市民、事業者に普及していくためこうべUD広場が神戸市と共同で開催。翌年 2004 年にも開催し、「ユニバーサルデザイン全国大会」の神戸開催へとつなげていく



こうべユニバーサルデザインフォーラム

- ・ 2004 年(平成 16 年)3 月 「こうべUD広場からの呼びかけ」の策定
「世界一ユニバーサルなまち神戸をめざして」と題し、みんなが目指すべき目標や取り組むべき具体的な内容を取りまとめ、呼びかける
「UDのまち神戸」実現のための方策を幅広く議論し、UDを推進していくための策定を行う

～世界一ユニバーサルなまち神戸をめざして～

こうべUD広場から神戸を愛するみなさんへ

神戸を世界一ユニバーサルなまちにするために、私たちといっしょにユニバーサル社会の実現に向けて取り組んでいきましょう。「ユニバーサルなまち神戸」とは何か、その実現のために私たちは何をしたらいいのかをまとめたものをみなさんと分かち合いたいのです。私たちは、表題の“ユニバーサルな”という言葉は、“魅力的な”“ステキな”“居心地のよい”“しなやかな”“心がおしゃれな”“人にやさしい 人がやさしい”... など、いろいろな言葉におきかえられるのではないかと考えました。みなさんは、“ユニバーサルな”という言葉をごどんな言葉におきかえますか？ この呼びかけを読んでいただき、いっしょに考えましょう

- ・ こうべユニバーサルデザインのシンボルマークを公募により作成
ユニバーサルデザインの「U」、「D」をモチーフに、すべての人にやさしいデザインを人々の笑顔で表現。赤・緑・青は、ポートタワー・山・海を表し、神戸のまちにあふれる笑顔をイメージしている



- ・ 2005 年(平成 17 年)8 月「第3回ユニバーサルデザイン全国大会」を開催
震災から 10 年にあたる年の夏に神戸で開催。市民一人ひとりが主体となって取り組んだ「ユニバーサルなまち神戸」の姿を全国・世界に発信
- ・ 2005 年(平成 17 年)8 月 17 日「こうべ UD 宣言」

海と山に囲まれた、自然いっぱいのまち、神戸。
世界に開かれた、異国情緒豊かなまち、神戸。
おしゃれでハイカラなまち、神戸。
私たちは、この神戸のまちが大好きです。

10 年前のあの震災。
6,433 人の命が奪われ、住む家が無くなり、働く仕事が無くなり、そしてコミュニティが無くなった。
全世界・全国から支えられ、私たちは復興へと歩んできた。
年齢も性別も文化の違いも越え、みんなで助け合おうとした。

そう！みんながしあわせにならなければ、自分も幸せになれない！

私たちの前には広がっている。みんなが輝いて生きているまちが。
さまざまな個性や違いを越え、すべての人が役割を持ち、持てる力を発揮して、いきいきと暮らしている！

私たちの前には広がっている。みんなが心地よく生きているまちが。
社会のしくみを変えることで、暮らし方や働き方が変わることで、こんなにも出来る事が増えている！

私たちの前には広がっている。活き活きとした神戸のまちが。
使いやすいものがさりげなく工夫され、地域みんながかかわって、「名物」が生まれ、文化になって、まちの誇りやパワーになっている！

みんなの顔が一人ひとり違うように、得意なこともできないことも一人ひとり違うから、いろんな人が出会うから、心が豊かになってゆき、暮らしが豊かになっていく。

少し視点をかえるだけ。UD って、身近なものだから。

神戸から全国へ呼びかけます。

このユニバーサルな考えをもっと広げてゆきたいから。

すべての人がお互いを知り合って、そして自分らしく生きてゆけるように。

赤ちゃんも、子どもも、男性も、女性も、お年寄りも、身体が不自由な人も、気持ちのつらい人も、言葉や文化が違う人も、みんなちがってあたりまえ。

ちがうからわかりあいたい。わからなくっても大切にしたい。

先人の知恵も借りながら、心地よさを、楽しさを、暮らしを、大切な自然を、全てのひとと分かち合いたい。世界中のひとと分かち合いたい。まだ見ぬ未来のひと々と分かち合いたい。

「神戸らしさはユニバーサルなところだね」と全てのひとに愛されるように、一步一步たゆまず歩いてゆく事を、ここに宣言します！

2005 年 8 月 17 日こうべ UD 広場

- ・ **2008 年(平成 20 年)「UD出前授業」を開始**

UD の「意識づくり」のため、UD サポーターが講師の「UD 出前授業・学習会」を市内の学校、地域の学習会で実施

ものの UD やまちの UD を学びながら、UD の仕組みづくり、心の UD についての理解を深める

様々なニーズに応えられるよう、教材やカリキュラムを検討している



UD出前授業の様子



UDグッズ

- ・ 2009 年(平成 21 年)「夏休み子どもUD体験教室」を開催(後の「夏休み親子UD体験教室」)

夏休みを活用して、小学生が体験型で UD を学ぶイベントにサポート役として参加
平成 25 年より保護者にも UD について学んでもらい、体験教室後も親子で UD についてともに話し合い、UD への理解を深めるきっかけとなるような企画となっている



夏休み親子UD体験教室の様子

- ・ 2010 年(平成 22 年)「UDカルタの作成」

「こうバアイデアコンクール」で募集した“UD 川柳”の中から、選考した作品をカルタにカルタの形状、デザインなどにも UD の視点を取り入れている

小学校などの教育機関、ふれあいのまちづくり協議会、地域団体などに貸し出しをしている



- ・ **2012 年(平成 24 年)「UD事例集」を発行**

こうべ UD サポーターと共に、地域の様々な活動をユニバーサルデザインの視点で取材を行い、冊子にまとめた。Vol.1 から Vol.4 までは「ふれあいのまちづくり協議会編」として、各区のふれあいのまちづくり協議会のUDの取り組みを取材。Vol.5、Vol.6 ではテーマを決め地域や大学、企業などを取材。UD の考え方が取り入れられた事例が、さらに広がっていくことを目指している。



UD事例集の取材



UD事例集 Vol.5

- ・ **2020 年(令和 2 年)**

広場のメンバーは「こうべUD活動サポーター」の名称で市民ボランティアとして活動している

活動内容

(1)「こうべUD広場」定期的な開催(1 回/月)

- ・ UD情報の収集・発信、情報共有
- ・ UDの取り組みの全市的な推進を図るとともに、小中学校への出前授業等の講師や地域へのUD学習、UD出前授業の教材開発
- ・ UD啓発のアドバイザーとして活動するサポーターを育成

(2)「UD出前授業・学習会」

- ・ UDの「意識づくり」のためUDサポーターが講師の「UD出前授業・学習会」を市内の学校、地域の学習会で実施

《出前授業実績》

| | 小学校数 | 中学校数 | 高校数 | 児童・生徒数 |
|----------|------|------|-----|---------|
| 令和元年度 | 31 校 | 2 校 | 1 校 | 2, 234人 |
| 平成 30 年度 | 33 校 | 4 校 | － | 2, 832人 |
| 平成 29 年度 | 28 校 | 4 校 | － | 2, 246人 |

2008 年から 2020 年出前授業実績

小学校 251 校、中学校 44 校、高等学校 1 校

児童・生徒数 22, 746名

(3)UD普及啓発イベント

「夏休み親子UD体験教室」への参加

小学校 3 年生から 6 年生までの児童とその家族が市内のUDスポット(王子動物園、須磨水族園、神戸空港、ノエビアスタジアム神戸、しあわせの村など)を巡り、見る・聞く・触るなどの体験を通じてUDを学ぶ

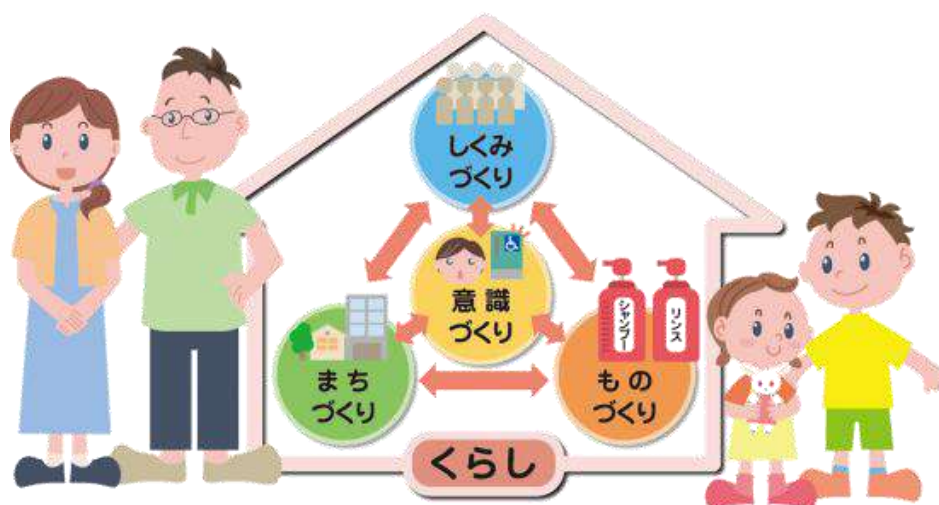
参加者は、平成 30 年度「神戸空港」親子 207 人・平成 31 年度「ノエビアスタジアム神戸」親子 68 人を含め、11 年間で延べ約 1,000 人。

「こうべユニバーサルデザインフェア」への参加

UDに取り組んでいる企業、学校、地域団体などが日頃の成果を発表する場としてステージショーや出展ブースでのパネル展示・販売などを実施。

平成 30 年度の来場者 8,500 人を含め、これまでの 16 年間で約 17 万人が参加

(4)地域でUDに取り組む団体、学校、事業者への取材、UD事例集の発行



阪神・淡路大震災後、神戸を世界一ユニバーサルなまちにしようと

「こうべUD広場」の活動は始まりました。

まずユニバーサルデザインの 4 本柱(意識づくり・まちづくり・ものづくり・しくみづくり)の呼びかけを提唱し、UD出前授業、夏休み親子UD教室、UD事例集、こうべユニバーサルデザインフェアへの参加など様々な場面で活動してきました。

<令和 2 年度 作成>

事務局 公益財団法人 こうべ市民福祉振興協会 福祉推進課
ユニバーサル推進担当

〒651-1106 神戸市北区しあわせの村 1 番 1 号

TEL:078-743-8193 FAX:078-743-8180

令和 6 年 3 月末日をもって当協会は事務局業務を終了しました。

(「UD 広場」は自主活動で活動を継続しています)

また、これまでの「UD 広場」の活動内容のうち、「UD 出前授業」については当協会が事業を継続し、これまでの UD 広場メンバー及び新たに「UD 活動サポーター」に登録された市民サポーターが講師を務め、市内の小学校を対象に実施しています。